

平成 30 年度採用（大卒電気・電子・情報）

所属：下関税関支署 通関部門

### 1. 仕事(職場)について教えてください

私は下関税関支署の通関第2部門で働いています。通関部門では、輸出入申告が正しく行われているか確認するために、外国から日本に到着した輸入貨物や日本から外国に送られる輸出貨物について、書類審査及び検査をしています。下関港には主に韓国や中国から多種多様な貨物が到着します。関連する法令や条約が多岐にわたるため、覚えることも多く大変な面もありますが、先輩や上司の方々から丁寧に指導を頂きながら日々知識を習得しています。



### 2. 仕事の中で印象に残っていることは何ですか？

商標権に係る知的財産侵害物品である SD カードの輸入を差し止めたことです。門司税関では、令和 3 年の輸入差止点数が 6 年ぶりに 50,000 点を超え、ここ数年差止点数は年々増加しています。毎日大量の貨物が輸入されていますが、通関部門において不正薬物やコピー商品等の知的財産侵害物品を阻止することの重要性を意識して日々業務に取り組んでいます。

### 3. 採用研修について教えてください。

採用されてすぐ実際に業務を行うのではなく、採用研修を経て現場に配属されます。私の入関時には、全国の同期が千葉県柏市にある研修所に集まり、一丸となって税関業務や語学、そして貿易実務など幅広い講義を受講しました。それは、新社会人であり、公務員として必要な心構えを持つ貴重な機会です。

### 4. 税関の魅力、やりがいは何ですか？

様々な業務を経験できることです。専門性の高いものもありますが、職場での指導や研修によってしっかりと身に付けることができます。私自身、研修を通じて初めて韓国語を学び、なんとか仕事でも使えるようになりました。

加えて、福利厚生が充実していることです。例えば、私は第一子誕生の時に約 1 か月の育児休暇等を取得し、育児や妻のケアなど貴重な経験をすることができました。理想的なワークライフバランス実現により、働きやすく、より集中して仕事ができることも魅力です。

### 5. 就職活動中のみなさんへメッセージ

税関に少しでも興味を持たれている方は、ぜひ官庁訪問や業務説明会に足を運んでみてください。職員から生の声を聞くことができる良い機会です。できるだけ選択肢を広げることで、自分が納得できる結果につながると思います。このメッセージがみなさんの就職活動への参考になれば幸いです。

